

## 事前評価個表

整理番号	70
------	----

地域（地区）名	<small>え の かわじょうりゅう</small> 江の川上流地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	広島県	対象市町村	三次市ほか2市
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	市、森林組合等

事業の概要・目的	<p>江の川上流地域は、広島県の北部に位置し、東は岡山県、北は鳥取県、島根県と境を接している。主要河川である江の川の源流があり、島根県を経て日本海側へ注いでいる。この地域は、概して低温多雨で山間地域特有の気候であり、冬期は積雪が極めて多い。</p> <p>本地域の総面積の約80%を森林が占めており、県下でも有数の林業地帯である。スギ及びヒノキの人工林は伐期適齢期を迎えつつあり、県産材の安定的な生産・供給への期待が高まっている一方で、小規模零細な所有形態の団地化や搬出コストの縮減等の持続的林業経営の体制づくりが課題となっている。</p> <p>事業実施による県産材の安定的な生産・供給を行うことで、流通、加工、消費を通じた供給体制を構築するとともに、森林の公益的機能の持続的な維持・発揮が期待できる。</p> <p>事業実施による森林の公益的機能が持続的に維持・発揮されることにより、農業環境、漁業環境への保全効果が高められることから、関係部局と連携を図りながら事業を推進する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：10,020ha 人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：3,023,500千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 5.82 (総便益(B) = 27,912,737千円、総費用(C) = 4,790,528千円)</p>
評価結果	<p>必要性：森林整備が必要な森林が多く存在することから、森林の公益的機能を高めるためにも事業実施は必要である。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：資源として本格的に利用可能な段階を迎えている人工林等を適正に整備することにより、公益的機能の発揮と県産材の安定供給が図られ有効である。</p> <p>森林は多面的な機能を有しているが、これらの機能を一度失うとその回復には長期間を要することから、生育段階や立地条件に応じた適時・適切な森林整備が不可欠である。 本計画では、森林の公益的機能の発揮に配慮した計画としているほか、効率性や有効性が認められることから本計画を実施することは適当である。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

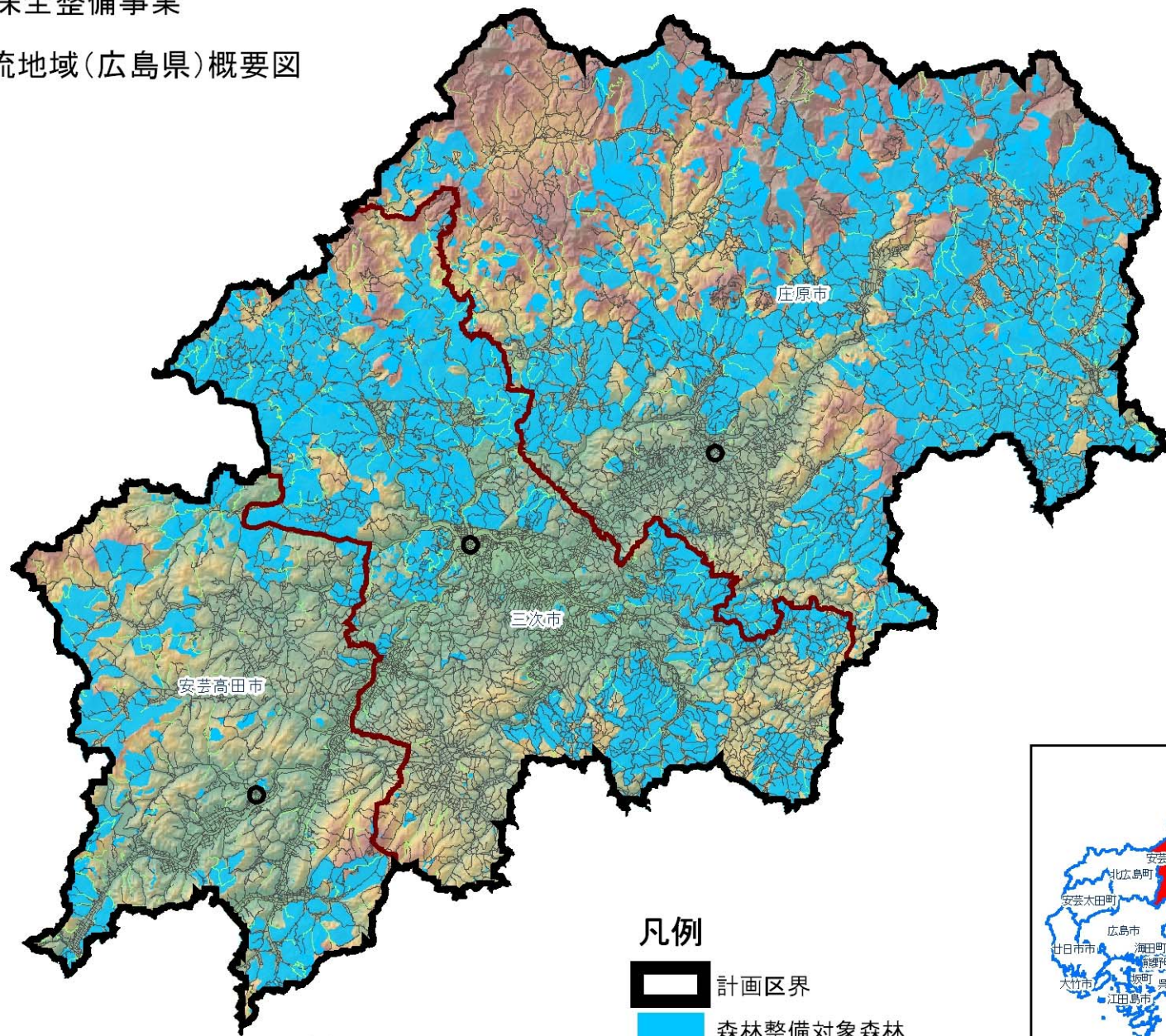
事業名: 森林環境保全整備事業  
 地域名: 江の川上流

広島県  
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	7,813,074	
	流域貯水便益	3,180,704	
	水質浄化便益	5,430,066	
山地保全便益	土砂流出防止便益	10,126,642	
	土砂崩壊防止便益	1,985	
環境保全便益	炭素固定便益	722,823	
木材生産便益	木材生産確保・促進便益	637,443	
総 便 益 (B)		27,912,737	
総 費 用 (C)		4,790,528	
費用便益比	$B \div C = \frac{27,912,737}{4,790,528} = 5.82$		



# 森林環境保全整備事業

## 江の川上流地域(広島県)概要図



○ 市役所

### 凡例

-  計画区界
-  森林整備対象森林

